

たかとり



鷹取中 PTA スローガン

た
か
とり
の
未
来

広報たかとり 第118号
発行 平成26年12月
編集 横須賀市立鷹取中学校
PTA 広報委員会
住所 横須賀市湘南鷹取
2丁目30-1
☎ 046-866-3800
印刷 株式会社 成徳

ちょっとずつ、 経験していってほしい。

校内、校外を問わず、鷹中生が参加する行事で常にカメラを構える松井校長先生の姿があります(撮り鷹?!)。校長先生が発行する「鷹中だより」にはその行事の詳細と写真が網羅されていますが、驚くのは次の日に発行されること。エネルギーに活動する、松井校長先生にインタビューしてみました。



松井さとの校長 プロフィール

- 出身：神奈川県 ● 干支：戌(1958年生)
- 血液型：B型 ● 星座：天秤座
- 好きな食べ物：とくに好きなのは肉。だけど豚足だけは駄目。
- 趣味：スポーツ(スキー、テニス、バレーボール)
- 愛読書：スラムダンク、ワンピース
- 座右の銘：I will do my best. 自分でも心がけているそうです。

広報——中学生時代はどういうお子さんでしたか？

松井校長 部活三昧でした(テニス部)。中3の夏の三者面談で、担任の先生から「志望校は無理」と言われ、そこで負けず嫌いなところが出て…尊敬しているテニス部の先輩も『ここに来いよ』と言ってくれたこともあって、そこからです。猛勉強を開始しました。テニスの選手になるつもりではいましたけど。親は夜に勉強するな、というタイプだったので、押し入れに隠れて勉強。あと、併願校の希望を横須賀学院と伝えたら「お前は“中央”に行ったら遊んでもっと悪くなるからダメ」と言われました(笑)。

——3年生の夏からですか？(驚)

頑張ればできます！僕進路担当なんですけれど、評定でいうと2と4の違いはめちゃくちゃ高いですが、この2点の差は入試の時は5点。学校によっては3点。500点満点中の5点なんです。だから、今から頑張っても間に合うんです。あとは『気持ち』だけなんですよね。

——生徒のやる気スイッチって入るんでしょうか？

小学校の頃に、漢字を毎日50回繰り返し書くということを親から強制されたんです。嫌々書いていたんですが、結果的には点数が取れるんですよ。

僕が今年始めた Thinking power(数字の問題)もそれと同じ。本当に簡単な問題から始まっています。ちょっとずつ階段を上っていくようにして、「頑張ったら点数が取れるという経験」をする事が大切だと考えています。それがやる気スイッチをONにするきっかけになればいいと思います。これは僕の経験が元にあるかもしれないですね。頑張る経験をしておくと、違います。

——人生を変えた一冊はありますか？

人生を変えた人はいるけど、本で人生は変わっていません。活字中毒なので出張に出かける時など、手元に何かないとダメ。

——人生を変えた人とは誰でしょうか。

部活や教師の先輩ですね。その人の考え方がいいなあと思い、自分もそのような人を目標にしようと思った事があります。

——『夢』に関するアンケートを生徒に出されましたが…

はい。じっくり読ませていただいています。夢を持っている子どもたちが少ないなあという感想ですが、中には素晴らしい夢を書いている子もいます。お母さんたちのアドバイスには、とてもいい言葉がたくさん書いてあります。何か子どもたちに伝えたいと思う時って、身近な人より、遠い人から言われた方がすんなり聞き入れられることがありますよね。だから、お母さんたちのいい言葉をこれから使わせてもらおうと思っています。

『夢は最後に叶うのか』という、そうじゃないこともあります。でも、それに向かって頑張ってきた事が、社会に出てから生きる。それがいいのかなと思っています。

——退職された後の夢を教えてください。

「再任用」という制度があって、退職後に再び教職に着くことができるんです。校長という管理職ではなく、教師としてまた生徒を教えていきたいです。あとは趣味(スポーツ)をまだ続けたいですね。体力の続く限りですが。

65歳を過ぎてからは、何か別の事にチャレンジしてみたり、資格を取ったり、旅行に行ったりしたいです。

でもまずは鷹取が神奈川県で最高の学校になるよう頑張ります！

——お忙しい中、ありがとうございました。

3年1組 Alice ～世界がアリスの夢だったら～



あらすじ

主人公の朝香の姉、夕香は眠り病にかかっている。姉の回復を願う中、いつのまにか朝香も夢の世界へ・・・。

そこで出会ったのはつらい現実の世界から逃げた人たち。

はたしてこの物語は夢の中で終わってしまうのでしょうか？



お姉ちゃん・・・帰ろう・・・

監督にインタビュー

クラス全員が役になりきることを恥ずかしがり、まとめるのに苦労した。

3年2組 グッドバイ・マイ・・・

この手で未来を切り拓く



あらすじ

ここは生まれる前の世界。これから生まれてくる4人の子どもの未来への希望と不安をテーマに「命の尊さとは何なのか？」を考えさせられます。

監督にインタビュー

重いテーマなので役に入っていくのが難しかった。

響かせよう！ 喜びを！ 伝えよう！

2年1組 人形館

あらすじ

主人公 春野香が自由を求めて旅に出て、古臭い人形小屋にたどりつき、個性豊かな人形たちと出会う。その出会いは、香の人生にどのような影響を与えるのでしょうか？



あたしの代わりにニニの掃除をやってくれるかい？

監督にインタビュー

照明や音響を合わせるのが大変だった。役者の配置の仕方など苦労した。

2年2組 ユタと不思議な仲間達



出会いは別れの始まりだからな

あらすじ

母親が亡くなって田舎へ転校してきた主人公ユタ。いじめられながらも5人の座敷わらしと共に生きることの素晴らしさを知り、たくましく成長していく姿を描く。

監督にインタビュー

演じる事が難しい。ダンスのリズムを合わせるのが大変だった。

1年1組 夢屋



自由の侵害である！！

あらすじ

自由が欲しい主人公ケイスケがナゾの男「夢屋」と出会い、自由の国へ行くがその国へ行くことで本当の自由とは何なのかがわかる。

自分の自由というイメージが変わる！

監督にインタビュー

初めての劇なのでうまく指示が伝わらなかった。登場人物 Air, Sky, Line. のセリフを工夫した。



裏方も結構大変

1年2組 真夏のサンタクロース

あらすじ

おっちょこちょいのサンタ4人がくりひろげる愉快なストーリー。感動シーンや対立シーンもあり見どころ盛りだくさん。



僕たちの姿は大人には見えない見えるって言うことは・・・

監督にインタビュー

セリフが覚えられず、道具もなかなか揃わなかったが、3年生を超える劇をしたい。

感動を！ 繋げよう！ 文化の絆！

音楽部



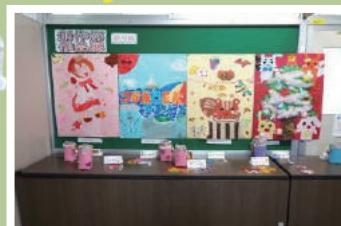
- ① ないものねだり
- ② アボロ
- ③ YELL
- ④ 愛でした。
- ⑤ Rolling Star

「大切なもの」

先生方の合唱



美術部&創作部



文化部発表



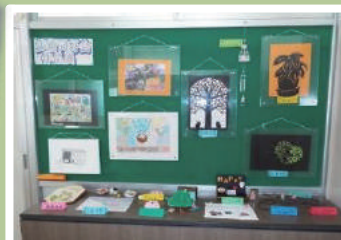
三浦千尋さん主張文表彰

科学部



ピタゴラスイッチ

- ① 空気砲
- ② 糸電話
- ③ ペットボトルロケット
- ④ ピタゴラスイッチ



PTA アンケート 「心の声」を振り返って

前号で子どもたちが感じているストレスや解消法、言われて傷ついたこと、嬉しかったことなど「心の声」のアンケートを行いました。

わたしたちは、このアンケート結果をふまえさらに一歩踏み込んで、全校生徒の保護者を対象に「心の声」を読んでどのように感じたか、その感想を聞いてみることにしました。

Q1 広報誌「たかとり」をお子さんから受け取っていますか？

[複数回答あり]

町内の回覧で読んでいる

4人

受け取ったことがない
2人時々受け取っている
16人毎号受け取っている
79人今年度最終号の発行は
3月上旬です。

Q2 広報誌「たかとり」をどの程度読まれていますか？

[複数回答あり]

ほとんど読まない
4人興味のあるページ
だけ読む
10人写真だけ見る
1人回答なし
1人ざっと目を通す
46人じっくり読む
39人

[総回答数 100人]

多数の回答からピックアップしてみました。

Q3 子どもの「心の声」聞こえていますか？ アンケート結果についてどう思われましたか？

子どもは大人が思っている以上に言われた言葉に敏感に反応することを改めて知りました。

自分の子どもだけが思っていることではないのだとホッとすることもありました。

今の時代の中学生は昔と比べてストレスを抱えて生活している印象を強く受けました。上手なストレス解消法をみつけて、うまくつき合っていってほしいです。

「ありがとう」という特別ではない言葉に嬉しさを感じる子どもが多いことがわかり、家族の中でも気持ちをこめて「ありがとう」と言える親になろうと思いました。

とても参考になりました。勉強、成績、進路のことをストレスに感じている子が多く(特に3年生)親の方も接し方を改めて考えていかなければいけないと思いました。

もっと子どもらしくいてほしいと思いました。思春期の子どもの異変に早めに気づき、対処しなければならないと感じました。

他人事ではなく怒りにまかせていったひと言が、子どもを深く傷つけていたのかもしれないと反省しました。

親の「心の声」もあつたらおもしろいと思います。



いつも子どもにうるさく言ってしまう自分にストレスを感じる。これからは子どもにあまりうるさく言わないように気をつけようと思いました。

～広報の声～

Q3 子どもの「心の声」聞こえていますか？の質問には大変な反響があり、保護者のかたからたくさんのご意見をいただきました。親として悩んでいること、心配をしていること、考えていることが同じということがわかりました。

中学生に限らず、まわりの人と関わり合っている以上、誰でも色々な悩みを抱えストレスへと繋がります。そのため自分なりの解消法を見つけて、ストレスとうまくつき合いながら周囲との関係を作っていくってほしいと思います。

親はどう子どもたちと向き合っていけばいいのでしょうか？

夜回り先生こと水谷修氏は雑誌の中で「家庭は子どもたちにとって最も心安らぐ居場所。その居場所でイライラした言葉ばかり交わされていたとすれば、子どもたちの笑顔をうばう…」と書いていました。子どもにダメ出しをするのではなく、褒める言葉のシャワーをたくさんかけてあげることも、子どものストレスを解消する一番の近道かもしれませんね。

紙面の都合上、いただいたすべてのご意見を掲載することができず申し訳ありません。ご覧になりたい方はお気軽に広報委員まで声を掛けてください。

アンケートにご協力ありがとうございました。

Q2の結果では、大半の方が広報誌に目を通していただいていることがわかりました。広報委員会への応援のメッセージもいただき、とても励みになりました。今後も愛される広報誌を目指してまいりますので、ご協力をお願いいたします。



福祉体験 1年

1年生は11月11日に聴覚障害の方の講演を聴き、簡単な日常会話の手話を教えてもらいました。21日にアイマスクをつけて視覚障害、12月12日には車いすを体験しました。校舎の外にも出て、段差の乗り越えかたや、急な坂の動き方、また車いすを後ろから押してあげるサポート方法についても経験を積む事ができました。



11月11～13日の3日間、2年生が各事業所に行き「仕事」を体験してきました。働くことの大切さ、厳しさについて得るものが大きかったのではないのでしょうか。ご協力いただいた事業所は以下の通りです。

- ハックドラッグ金沢文庫西口店
- ローソン追浜一丁目店
- ローソン京急田浦駅前店
- 京急ストア追浜店
- 西友鷹取店
- モスバーガー追浜店
- シェ田坂
- ごはん亭船越店
- ガソリンスタンド富士オイル
- 横須賀市立図書館
- すこやか
- 横須賀鷹取郵便局
- 横須賀市消防局北消防署
- ぎんのすず幼稚園
- たかとり幼稚園
- 南六浦保育園
- やすらぎの杜
- めくもりサービス
- 油壺マリンパーク・釣り船

職場体験 2年



9月20日(土)、地域の多才な先生がたをお招きして生徒たちはふれあいカルチャー講座で学び、11時からPTA主催の第23回翔鷹祭が行われました。各ブースは活気にあふれ生徒たちで賑わっていました。

事前準備、当日の朝からの開店準備など、各ブースの担当者の方々、当日のボランティアの皆さまお疲れ様でした。



●いつから始まったの？

この生徒と素敵なコミュニケーションがとれる翔鷹祭はいつから始まったのでしょうか？過去のプログラムや資料を探し、調べてみました。

1992年(平成4年度10月24日)、第1回翔鷹祭が開催されました。模擬店、職員劇(リア王)、ビンゴゲームや大声張り上げ合戦、ヤマハエレクトーンサウンドマジックの富岡泰也氏を迎えてライブコンサートなどが行われていました。

当時のPTAだった鷹々会の方々にお話を伺ったところ、翔鷹祭は保護者と教職員が手作りで行った文化祭でしたと語ってくださいました。

パンフレットの表紙は第12回まで美術の先生が作製し、第13回目から生徒の作品が採用されるようになりました。

次にふれあいカルチャーについて過去の資料を見つけましたので、ご紹介します。

2003年(平成15年11月1日)、当時の高野和子校長先生が、地域との交流を目的とした横須賀市のモデル校として「ふれあいカルチャー」を取り入れ、この年から翔鷹祭と同じ日に行う現在のスタイルに変わりました。

●ふれあいカルチャーの目的は？

- ・地域の様々な教育力を活用し、幅広い年齢層の地域の方と生徒が同じ場で活動することにより、大人の懸命な生き方や文化に触れる。
- ・鷹取中学校が地域の教育力の中心として機能することにより「生涯学習」という視点を見据えた地域における文化・情報の拠点としての役割を発揮する。
- ・生徒と保護者、地域の方々が今まで家庭・地域では味わうことができない内面のふれあい、発見ができ、地域に戻ったときお互いに心が通じ、支えあえることができる。

(高野校長先生のお話より)

●歴史のある翔鷹祭！

その年々で若干の内容は違うものの、先輩がたの思いを受け継ぎ毎年楽しく行っていきたいと思います。



●翔鷹祭の名称について

小学校で育てられた鷹取の子が中学校でより大きく飛翔するようにとの期待をこめて名付けられたものだそうです。

素敵な先輩がたの憩いの場

ようようてい 鷹々亭

「鷹々亭」を知っていますか？

翔鷹祭では、毎年「鷹々会」の皆様が活躍している「鷹々亭」のコーナーがあります。

鷹々会ってなんですか？ 会員の方に聞いてみました！

鷹々会は鷹取中 PTA の運営委員会に携わった歴代のメンバー(先生・保護者を問わず)を会員としています。

会員相互の親睦を図るとともに、鷹中や鷹中 PTA のお役に立ちたいと日々活動しています。会員数は約 300 人。

年 1 回、総会・親睦会・歓送迎会等の開催と、翔鷹祭を盛り上げるためのブース運営を主な活動にしています。鷹々会にかかわるといっても「何かの縁」。人と人とのつながりを大切に、楽しく学校や地域の役に立っていききたいです。



かたちだけでも続けていきたい。
なくしたくない。
そんな思いで今も続けています。



ここはそれぞれ持っているいいところ
を引き出してくれる場所。

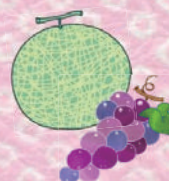


はじめは、バザーや家庭で取れた
柚子、柿などの販売でした。

温故知新



この看板も書道経験者が書かれたものです。



鷹々会は創立 22 周年。教育熱心で子ども思いの先輩がたに支えられて、鷹取の子どもたちの今があります。これからも見守り隊などお世話になります！！



卒業しても地域の人が集まれる
「懐かしい場所」が鷹々亭ですよ。

毎年2階の廊下では、新鮮な野菜、魚、果物などを販売しています。

← 鷹々亭ではお茶、コーヒー、お菓子の販売をし、地域の方々など来校していただいた皆さんの、憩いの場となっています。

鷹中トピックス

「余命半年」宣告されてなお…

10月31日(金)、鷹中体育館にて現役女子大生の山下弘子さんの講演会が行われました。テーマは「今を生きる」。19歳で癌で余命半年と宣告され、手術、抗がん剤などのつらい治療を受けてなお、彼女は「生きていて幸せ」と語りかけてくれました。「生きなくてはならない理由はなんでしょう？ 幸せは周りが決める事ではなく本人が決める事」。彼女のとても明るく強い言葉に深い思いが湧いてきました。生徒からの質問にも丁寧に応えてくださり、講演を聴いていた私たちも心に響くものがあり考えさせられました。



本物に触れた [金メダリスト西山麗選手講演会]

12月11日(木)には全校生徒でオリンピックで金メダルを受賞したソフトボール日本代表の西山 麗選手の講演を聞き、本物の金メダルにも触れて貴重な体験をしました。講演後、西山選手に直接質問することができました！

広報「ソフトボールの魅力は何ですか？」

西山選手「他のスポーツでは、身体の特徴を求められるものが多い中、ソフトボールは身体の大きさなど関係なく、自分の特性を活かし、誰にでも出来るスポーツだというのが魅力だと思います」

広報「ソフトボールを続けていて思うことは何ですか？」

西山選手「練習をしてつらい時があっても、“9人の仲間がいる”と思うと乗り越えられることと、ソフトボールの仲間がどんどん

増えていく時に喜びを感じます」

広報「ありがとうございました。これからのご活躍を楽しみにしています！」



いつまでも若々しく、美しく

[PTA体操教室・文化委員会]

11月19日(水)武道場にて、日本体育協会公認体育指導者の山村アリシャ先生を講師にお迎えして「いつまでも若々しく、美しく」をテーマにした体操教室が、校長先生と保護者15名の参加で行われました。「身体を動かすのは気持ちいいけど、先生に言われた通りに動かない(汗)」「いかに普段運動していないと痛感した」という声。



全力で走りきった!!

10月18日(土)、馬堀海岸直線道路にて横須賀市中学校駅伝競走大会が開催され、市内公立私立中24校が参加しました。9月5日の選考会で男子21名、女子15名が選出され、その中から男子6人、女子5人が活躍してくれました。万全のコンディションではない生徒もいたと思いますが、一人一人がベストを尽くしてくれました。



先生も走った!!

12月14日(日)穏やかな晴天の中、総勢80チームが参加し、神明中の周りを走る横須賀市第69回市民駅伝競走大会が行われました。鷹取中から選手として走り終えた先生がたからひとこと→相京さん「まだまだ自分は行ける自信が湧きました。たすきをつなげる事ができて良かった!」／鈴木(雅)先生「楽しく走りました。チーム鷹取最高!」／大津先生「不完全燃焼で終わってしまった。来年も出る! 頑張ります!」／三本先生「普段走っていないのでたすきの重みを感じて走りました」／成本先生「先生や生徒が応援してくれてとても嬉しかった」／湯川先生「最後にみんなの声援が聞こえて全力を出しきることができました!」

校長先生がたの応援にも熱が入り、木村先生、白鳥さんも大会スタッフとして大活躍。走り終えた後はすがすがしい顔を見せてくれた先生たち。本当にお疲れさまでした!



チーム名は「さとりと不思議な仲間たち」

行事予定

12月25日(木)	授業最終日・全校集会
12月29日(月)	学校閉校日(～3日)
1月7日(水)	授業開始日
1月13日・14日(火/水)	3年三者面談
1月16日(金)	第3回 漢字検定試験
1月20日(火)	3年学年末テスト
1月23日(金)	1・2年授業参観 1年ポスターセッション 第3回 英語検定試験
2月10～12日(火～木)	私立一般入試・合格発表
2月16日(月)	公立共通選抜学力検査
2月17・18日(火/水)	公立共通選抜面接・特色検査
2月24日(火)	3年生お別れ遠足
2月25～27日(水～金)	1・2年学年末テスト
2月27日(金)	公立共通選抜合格発表
3月13日(金)	卒業式